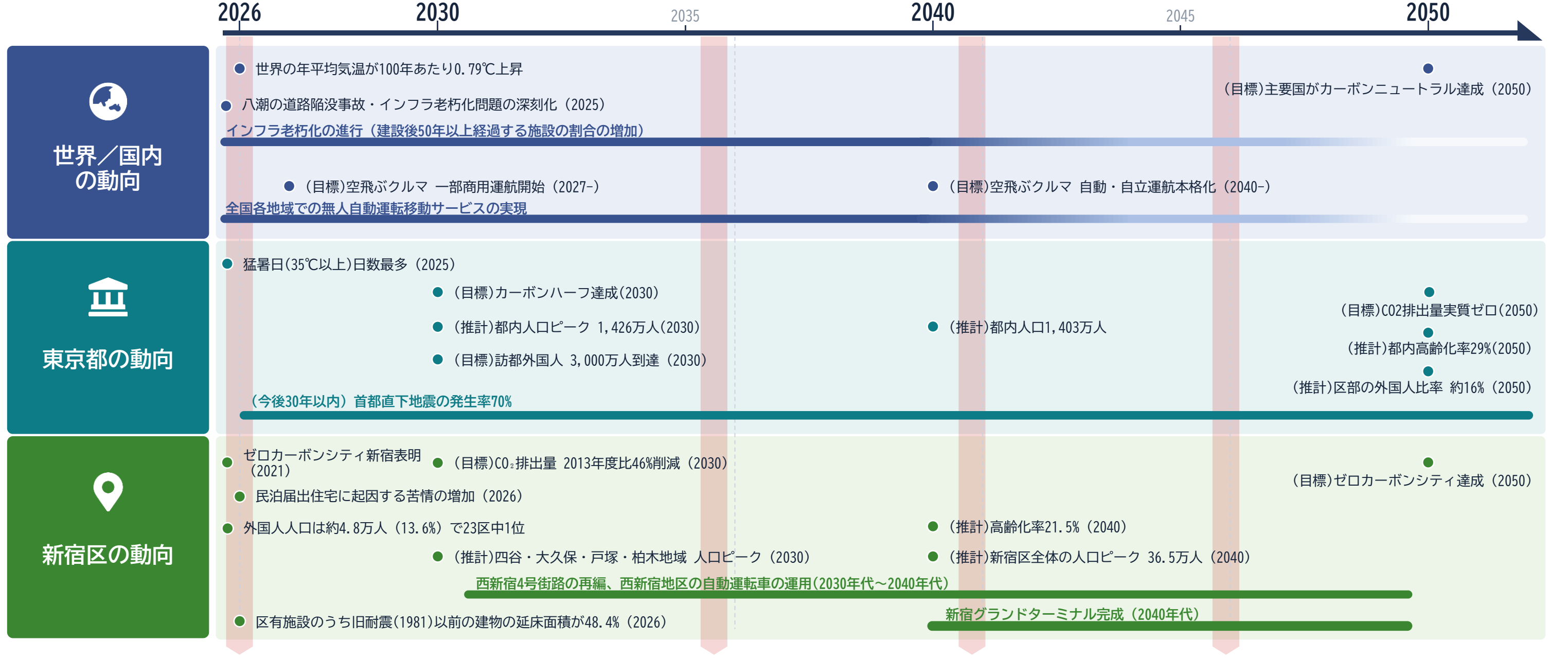


社会動向（新宿未来年表）

社会動向（新宿未来年表）

2050年代の新宿の将来像を的確に捉えたまちづくりを進めるため、想定される未来の姿を見据えた上で逆算的にまちづくりの方向性を検討する必要があります。そのため、世界/国内の社会動向や個別計画で示されている将来目標、計画中のプロジェクトの動向、将来推計等から、概ね20年後の新宿の将来イメージについて整理しました。



現在 2026 年ごろ

気候危機が日常化し、猛暑日日数は記録を更新。八潮市の道路陥没など、インフラ老朽化が全国的な課題に。コロナ後のインバウンド回復で来街者・民泊が急増し、にぎわいと暮らしの両立が問われ始める。新宿駅・西新宿では2040年代完成を見据えた駅や基盤の大規模再編が進行中。

10年後 2036 年ごろ

新宿グランドターミナルや西新宿の再整備が進み、都市構造の更新が本格化。自動運転バスやパーソナルモビリティなど新たな移動が浸透し始める。訪日外国人の増加がさらに進む中、インバウンド対策・多文化共生のまちづくりが本格的な局面へ。

15年後 2041 年ごろ

2040年に新宿区全体の人口が約36.5万人でピークを迎え、高齢化率は21%を超える。新宿グランドターミナルの完成が近づき、世界有数のターミナルとして駅・駅前広場・周辺施設が刷新。技術進歩により空飛ぶクルマの自動・自律運航の本格化や、新技術を活用した老朽インフラの更新が進められる。

20年後 2046 年ごろ

ゼロカーボンシティの達成（2050）と主要国のカーボンニュートラルが視野に。AI・ICT・ロボット技術を活かし、年齢や国籍等に関わらずいきいきと活動できるまちが実現。安心・安全で持続可能な、世界が注目する国際都市へ成長する。

出典
※1:気象庁「世界の年平均気温」(2026/2) ※2:国土交通省「八潮市道路陥没事故 原因究明委員会 中間取りまとめ」(2025/9) ※3:国土交通省「社会資本の老朽化の現状と将来」(2023/3) ※4:国土交通省「空飛ぶクルマロードマップ(改訂版)」(2026/3)
※5:国土交通省「2040道路政策ビジョンへのロードマップ」(2022/8) ※6:経済産業省「令和2年度エネルギーに関する年次報告(エネルギー白書2021)」(2024/6) ※7:気象庁 過去の気象データ検索(2026/7) ※8:東京都「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」(2025/5)
※9:東京都「2050東京戦略 附属資料 東京の将来人口」(2025/3) ※10:東京都「PRIME観光都市・東京東京都観光産業振興実行プラン2024-2026」(2024/2) ※11:東京都「多文化共生指針」(2026/1) ※12:内閣府「首都直下地震などの大規模地震対策について」(2026/2)
※13:新宿区「ゼロカーボンシティ新宿表明」(2021/6) ※14:新宿区「C02削減目標と達成に向けた区の率先行動について」(2026/1) ※15:新宿区「(住宅宿泊事業法の)届出状況及び苦情処理について」(2026/5) ※16:住民基本台帳(2025/1)
※17:新宿区新宿自治創造研究所「2020年国勢調査に基づく新宿区地域別将来人口推計・世帯推計」(2025/2) ※18:新宿区「公共施設白書」(2026/3) ※19:東京都・新宿区「新宿の拠点再整備方針」(2017/6)
※20:東京都・新宿区「西新宿地区再整備方針」(2023/3) ※21:西新宿地区再整備推進検討会「西新宿グランドモール(4号街路)デザインコンセプト」(2026/3)